

◆主要基金の状況

区 分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R10調理増 分含む	R11	R12	R13	R14	R15
減債基金	△ 2	△ 148	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
現在高	1,071	925	927	929	931	933	935	937	939	941	943	945	947
地域振興基金	△ 308	△ 300	△ 300	△ 300	△ 220		0	0	0	0	0	0	0
積立金	3	2	2	1		0	0	0	0	0	0	0	0
現在高	1,115	817	519	220	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職手当基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現在高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

財政推計の方法

歳 入	(1) 市税・交付税・ 臨財債等	<ul style="list-style-type: none"> 一般財源総額は内閣府「中長期の経済財政に関する試算」のベースラインケースを参考に試算 骨太の方針より、令和6年度まで一般財源総額を確保。令和7年度以降も同水準を維持。
	(2) 国県支出金	<ul style="list-style-type: none"> 扶助費などの歳出の増減に連動、R10年度に新給食調理場国庫補助金3.4億円を追加
	(3) 起債（通常債）	<ul style="list-style-type: none"> 建設事業債は毎年度30億円発行により推計、R10年度に新給食調理場起債発行額28.8億円を追加 過疎債はハードとソフトを含めて毎年度7億円程度発行により推計
	(4) 基金等繰入金	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興基金を毎年度3億円繰入れ
歳 出	(1) ①人件費	<ul style="list-style-type: none"> 推計期間中の採用方針は原則退職数を2年度ごとに平準化して補充、給与額の新陳代謝を反映 退職手当は定年延長制度に基づき隔年で支出
	(2) ②扶助費	<ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉扶助費（事業所増設・定員増加）の伸率、衛生費及び児童措置費等の増減を反映
	(3) 投資的経費	<ul style="list-style-type: none"> R6以降50億円で推計、R10年度に新給食調理場建設費42.3億円を追加 投資一般財源7億円程度で試算、R10年度に新給食調理場一般財源10億円を追加
	(4) その他経費	<ul style="list-style-type: none"> 特別会計繰出金は、社会保障費関係（後期高齢者医療事業、介護保険事業）の増額を反映 その他特別会計は所要の繰出金額を計上、R11年度より新共同調理場の公債費（別紙）が増額となる。 物件費、維持補修費、補助費等は今後の所要額見込みを計上、R10年度給食運営費増4200万円×9/12を計上